

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月19日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県会津若松市町北町大字藤室字藤室 721 番 1
氏 名 株式会社弓田建設

代表取締役 大石 隆徳

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0242 - 32 - 0311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社弓田建設
事業場の所在地	福島県会津若松市町北町大字藤室字藤室721番1
計画期間	令和8年4月1日から令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の規模	中分類 総合工事業 小分類 一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 30.3億円 (令和7年度実績)
③ 従業員数	71人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 受注した工事の内容により変動幅が大きい。 今年度は昨年より全体的に工事の受注が多かったが、産業廃棄物を減らす意識が向上したためか、産業廃棄物全体の排出量が減少した。 しかし、どうしても受注量に左右されるため特に取り組みは行っていないかった。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 昨年に引き続き、現場施工方法の工夫、発注者との協議を行って、発生量の抑制を図って行きます。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 当社で一番発生量が多いがれき類は、ほぼ100%再生可能なので収集運搬車1台毎に分別してすぐ搬出する。		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 昨年同様現状どおり進める。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり
		t
		t
		(これまでに実施した取組) 特になし。
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり
		t
		t
		(今後実施する予定の取組) 特になし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

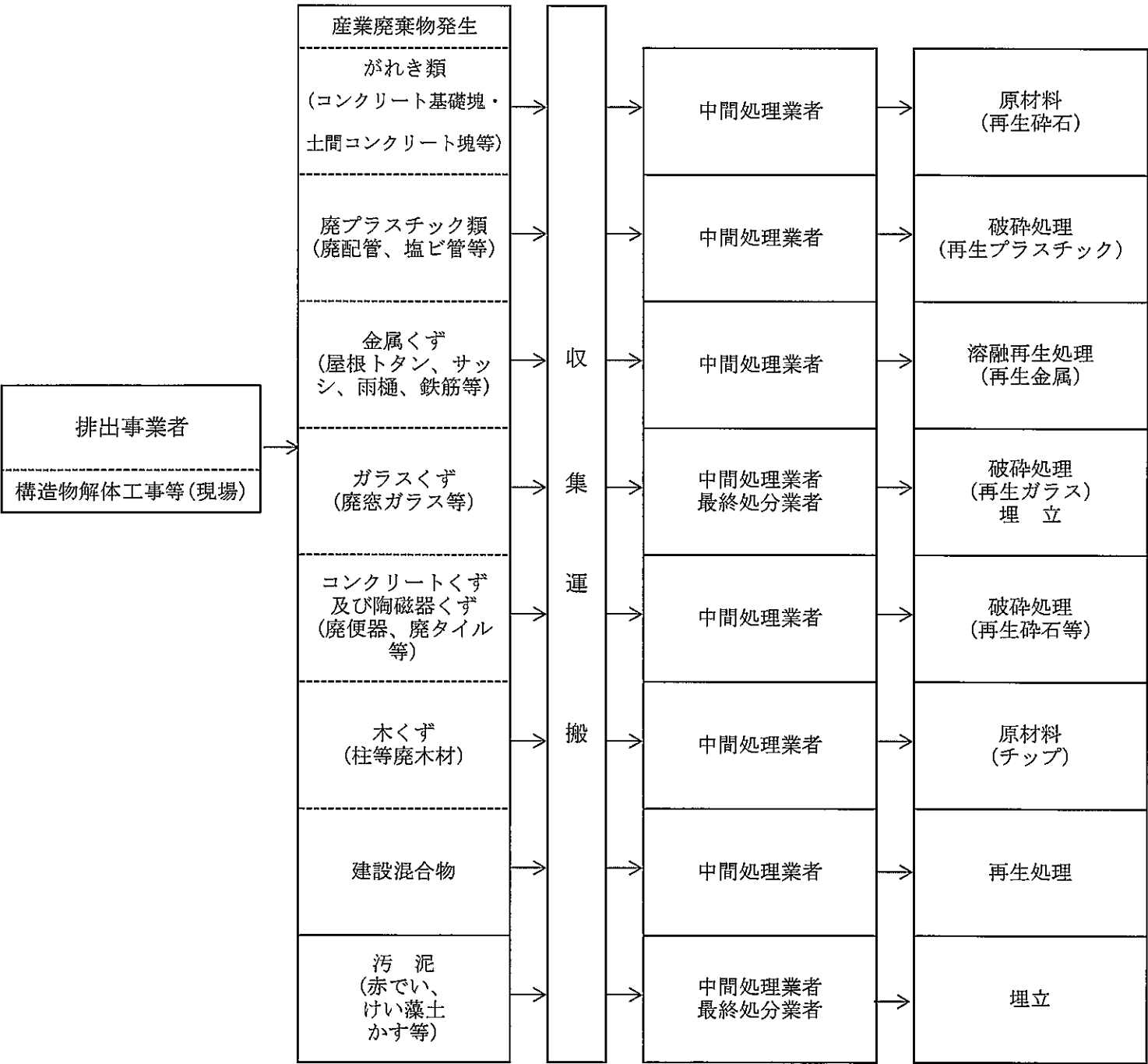
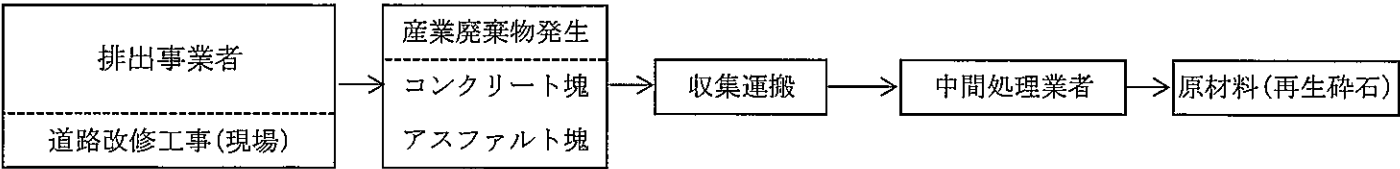
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり
		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
		t
		(これまでに実施した取組) 特になし。
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり
		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
		t
		(今後実施する予定の取組) 特になし。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 当社で一番発生量が多いがれき類は、再生砕石、再生アスファルトを製造できる再生利用業者を選んで処分を委託することで、リサイクルを推進してきた。また、他の産業廃棄物も同様に推進してきた。令和7年度も特に優良産廃処理業者認定企業との取引を推進した。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今年度も引き続き、当社で一番発生量が多いと予測されるがれき類 は、再生砕石、再生アスファルトを製造できる再生利用業者を選ん で処分を委託することで、リサイクルを推進する。 また、他の産業廃棄物も同様に推進する。 今年度も昨年以上に優良産廃処理業者認定企業との取引を推進して いく。		
※事務処理欄			

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(分 担)

役割	部署名・役職	内 容
統括部門	代表取締役 常務取締役	- 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 - 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 - 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 - 行政に対する報告等 - 産業廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施(社内啓発も実施)
現場管理部門 (工事部)	工事部 部長	- 土木工事、舗装工事の産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 上記内容を統括部門に報告
現場管理部門 (建築部)	建築部 部長	- 建築工事の産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 - 上記内容を統括部門に報告
管理本部	管理本部 部長	- 処理業者委託料金の支払方法による業者管理 - 上記内容を統括部門に報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○ 現状 前年度実績(令和7年度) 実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
排出量	2,613t	8t	175t	1t	27t	14t	103t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
排出量	2,600t	8t	165t	1t	25t	10t	100t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○ 現状 前年度実績(令和7年度) 実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○ 現状 前年度実績(令和7年度) 実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○ 現状 前年度実績(令和7年度) 実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度実績(令和7年度) 実績

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
全処理委託量	2,613t	8t	175t	1t	27t	14t	103t
優良認定処理業者への処理委託量	8t	8t	33t	0t	24t	0t	100t
再生利用業者への処理委託量	2,613t	8t	175t	1t	27t	14t	103t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥	建設混合廃棄物
全処理委託量	2,600t	8t	165t	1t	25t	10t	100t
優良認定処理業者への処理委託量	20t	8t	35t	1t	25t	2t	100t
再生利用業者への処理委託量	2,600t	8t	165t	1t	25t	10t	100t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t